

脳梗塞リスク評価を行ってみませんか？

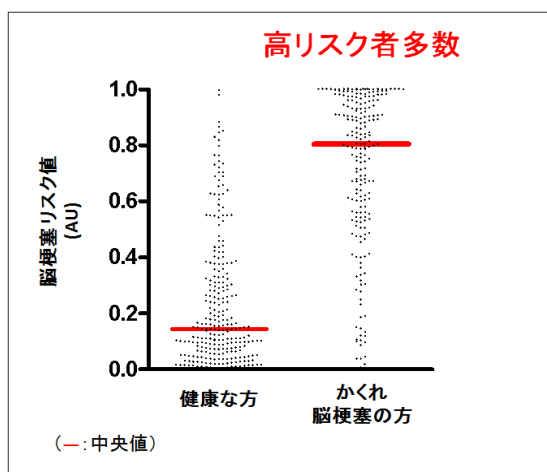
脳梗塞リスクとは？ = “かくれ脳梗塞”

脳梗塞は、症状の深刻さに気づかないまま突発に起こりうる危険な病気です。
発見が遅かった場合、重症化の恐れもあります。

自覚症状がない小さな脳梗塞を『かくれ脳梗塞』または『無症候性脳梗塞』といいます。
『かくれ脳梗塞』の方は、脳卒中、認知症になりやすいといわれています。
一般的な健診では『かくれ脳梗塞』を発見できません。



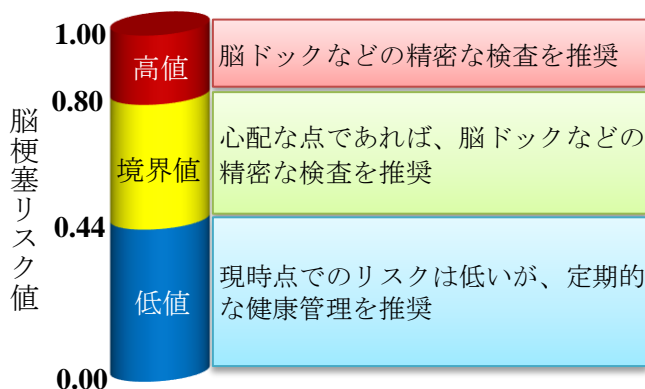
脳梗塞リスク評価の特徴



脳梗塞リスク評価は、血液分析により、かくれ脳梗塞の可能性を探る“安価・簡便”な検査です。
この新しい検査は、脳梗塞で細胞が傷つくと高くなる“アクロレイン”と炎症マーカー2種を測定します。

検査結果

脳梗塞リスク値を3段階で総合評価します。



※脳梗塞リスクマーカーは、脳梗塞に関する情報を提供するものであり、脳梗塞を診断するものではありません。

検査をご希望される方は、受付にお尋ね下さい。